

人を
知り、
人を
創る

学部案内 2024

島根大学 法文学部

SHIMANE UNIVERSITY
FACULTY OF LAW AND LITERATURE

この冊子は大学案内で紹介できなかった法文学部の特色、法経学科・社会文化学科・言語文化学科の教育の特色、取得可能な資格について説明したものです。また、皆さんが大学での勉強や将来をイメージする時の手助けとなる資料も掲載しています。



法文学部の特徴

島根大学法文学部は、法経・社会文化・言語文化の3学科からなり、人文・社会科学の諸分野を網羅する山陰地方唯一の文科系総合学部です。本学部に所属する教員スタッフは、日本と世界の多様な地域と時代にまたがって、人間の営みとしての思想・文化・社会のあり方や課題を、それぞれの専門の立場から日々研究しています。また、研究・教育の両面にわたって国際的な交流にも積極的に取り組んでいます。

本学部が所在する山陰地方は、古代出雲に連なる豊かな歴史と伝統を受け継ぐ地域ですが、その一方では、広大な中山間地域を抱え、過疎化と高齢化に伴うさまざまな問題にも直面しています。本学部は、そのような地域社会の文化や課題に学問的に向き合う研究センターとしての役割も担っています。

本学部では、52名の専任教員が、それぞれの研究活動を基盤にして、個別指導によるきめ細やかな教育活動を展開しています。その目指すところは、一人一人の学生が、創造的で実践的な能力を備えて、現代社会のさまざまな面で活躍できる人間として成長していくことに向けられています。そのために、各専門分野の系統的な学習を深めていくとともに、幅広い教養を身につけることのできる多彩なカリキュラムが用意されています。

[キャリアゲート制本格始動!]

法文学部では2017年4月以降の入学生を対象に、4年間にわたり学生のキャリア形成を支援する学部独自のシステムである「キャリアゲート制」をスタートさせました。

■1・2年「プレゲート期間」

自身の進路や人生について考える時期です。2年前期に必修科目である「キャリアプランニング」を受講して「キャリアプラン・ライフプラン」を作成します。また、「プレゲート講座」を2つ以上受講して将来に向けた基礎知識を身につけます。

■3・4年「ゲート期間」

3年生からは「企業」・「公務員」・「教員」・「司法」・「専門職」のいずれかのゲートに所属します。各ゲートにはそれぞれの特性に合わせた「ゲート講座」が用意されており、これを5講座以上受講して自身が希望する進路につくための知識と力を身につけていきます。

*現在「キャリアプランニング」開講中!詳しくは学部HPをご覧ください。
<https://www.hobun.shimane-u.ac.jp/carrier-gate/>



法文学部で取得可能な資格

■教育職員免許

学 科	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
法経学科	社会	公民
社会文化学科	社会	地理歴史、公民
言語文化学科	国語、英語	国語、英語

■学芸員(法経学科、社会文化学科、言語文化学科)

博物館等において資料の収集、保管、展示及び調査研究に関する専門的な職務に従事します。資格取得には、博物館法に定められた科目の単位を修得し、大学を卒業することが必要となります。

※これらの国家資格以外に、社会文化学科では、学会等によって定められた科目の単位を修得することで、地域調査士の資格も取得できます。



国内外の留学制度

■ 琉球大学への国内留学

私たち島根大学法文学部は、教育の一層の充実を図るため、琉球大学国際地域創造学部・人文社会学部との間で国内留学制度を設けています。本学部の学生は琉球大学に半年または一年間「留学」して学ぶことができます。

三つの学部は専門分野の内容がよく似ているので、琉球大学でも同じ専門分野の授業を受けることができます。向こうで修得した単位（合格した授業）は本学部の修得単位になるので、留学後に島根大学で学び直す必要はありません。また、留学先でも指導教員がつくので、授業の取り方などを相談することができます。

同じような授業名でも、担当する教員が違えば、学ぶ内容や考えることが大きく違ってきます。この「違い」を経験することで、知識が広がり深まると期待しています。専門の知識を深めるだけでなく、琉球文化にもふれてもらいたいと思っています。新しい体験、新しい友人は今後の人生で大きな財産となることでしょう。

- ・琉球大学では「特別聴講生」となり、学内施設が利用できます。
- ・琉球大学の学生寮を紹介します。
- ・琉球大学での授業料はかかりません。

■ 海外への留学制度

島根大学では、海外の協定校のうち、「学生交流に関する協定書覚書」を締結している協定校から交換留学生を受け入れるのと同時に、島根大学の学生を交換留学生として派遣することで学生の相互交流を推進しています。

また、交換留学制度以外にも授業の一環として、春や夏の長期休暇の時期に米国、カナダ、韓国、中国などでの海外研修を実施しています。この研修は、ホームステイ、文化講座の受講、現地学生との交流会等盛りだくさんの内容になっています。この研修に参加して、自身の成長を体感した学生が、改めて交換留学に申込みケースもあります。

- ・協定校への留学・研修では授業料はかかりません。
- ・大学独自の支援制度により、奨学金を受けることができます。
- ・主な留学先：アメリカ（アーカンソー大学、フロリダ大学）、フランス（リヨン第3大学）、ドイツ（トリア大学）、イギリス（エクセター大学）など



■ 学科紹介のデータの見方 次のページからはじまる、3学科の記載内容に関する説明です。

時間割

大学では受講する授業を自分で決めます。ですから、時間割は一人一人違ってきます。ここでは2年生前期に在籍するある学生の時間割を紹介しています。

- : 専門教育科目
- : 全学共通教育科目
- : 教職科目
- : 学芸員資格科目

授業一覧

2023年度入学生向けに開講されている専門科目（抜粋）です。スペースの関係で一部の授業は省略しています。また、憲法Ⅰ・憲法Ⅱと分けて行われている授業名を1つにまとめています。

卒業研究・卒業論文一覧

2022年度に提出された卒業研究・卒業論文から抜粋しました。4年間学修した成果として皆さんも将来取り組むものです。

学生による授業紹介

法文学部各学科の学生が、実際に受講している授業の内容やポイントを紹介します。

進路

2022年度の主な就職・進学先を示しました。

法 経 学 科

新しい時代、新しい法学・経済学

Department of Law and Economics

法経学科ホームページ
<https://www.hobun.shimane-u.ac.jp/houkei/>



法経学科の教育の特色

- 1 法と経** 本学科では、すべての学生が、法学と経済学の双方を学びます。複雑な社会を総合的に理解するには、どちらも欠かせないからです。
- 2 主体的な学習** 学生は、各自の関心や志望進路に沿った形で自ら学習プランをたて、主体的に学んでいきます。
- 3 積み上げ方式(コース制)** 1・2年次は法学と経済学の基礎(法学・経済学の基本的な知識や考え方を学ぶ科目群)を学び、3年次以降は「法学コース」「経済学コース」「司法特別コース」に分かれ、応用(様々な社会問題にアプローチする科目群)を学びます。
- 4 少人数教育** 教員1人あたりの学生数(1学年の学生数は約80名、教員は約20名)が少なく、きめ細やかな指導を行っています。在学生・卒業生からも、学生と教員との距離が近い、と好評を得ているところです。
- 5 全年次での演習** 大学の授業には、主として教員が学生に教授する「講義」の他に、調査や討論等を通じて主に学生同士で学び合う「演習」があります。この「演習」を毎年必修としていることも本学科の大きな特徴です。

■ 時間割

■ : 専門教育科目 ■ : 全学共通教育科目 ■ : 教職科目

ここでは、ある2年生の時間割を紹介します。

	月	火	水	木	金
1・2限 8:30~10:10		行政学	民法Ⅲ	植物の世界	行政法Ⅰ
3・4限 10:25~12:05	基礎演習	刑事法Ⅱ		英語ⅡB	観光概論
5・6限 13:00~14:40		演習は授業の準備が大切です。	ライフキャリアデザインA	ミクロ経済学	
7・8限 14:55~16:35	中等社会科教育法概説	経済政策論Ⅰ		金融論Ⅰ	
9・10限 16:50~18:30			全学教養育成科目では、自然科学も学べます。		情報と地域

■ 授業科目

2023年度入学生向けに開講されている授業科目を抜粋したものです。

学科共通科目	法学入門	入門演習
	政治・行政学入門	基礎演習
	経済学入門	専門演習

法学分野

経済学分野

基礎的科目	法哲学	経済学概論
	憲法	ミクロ経済学
	民法	マクロ経済学
	刑事法	財政学
	行政法	金融論
	政治学	経済政策論
応用的科目		国際経済論
	法制史	経済システム論
	企業法	情報産業論
	民事手続法	地域経済論
	刑事手続法	環境経済論
	労働法	経済統計処理論
	社会保障法	福祉経済論
	国際法	福祉経済各論
	税財政法	地方財政論
	地方自治法	国際経済各論
	国際政治	経済政策各論
	行政学	経営学
	公共経営論	簿記論
	NPO論	財務諸表論
		証券論

「演習」は教員と学生が少人数単位で実施するもので、ゼミナールとも呼ばれます。発表や討論を中心として、時には大学の外で実習・調査を行います。



学生による授業紹介

法経学科の先輩が、実際に受講している授業を紹介します。

「民法」を紹介します！



民法は私達の日常生活について定めている法律です。授業はⅠ～Ⅵまで分かれています。民法Ⅰでは民法を学ぶ上で基礎となる総則を学び、民法Ⅱでは物権というように、順序だてて学ぶことができます。基礎的な知識はもちろん裁判例も学び、習得した知識を運用できる力も身に付きます。

大島 尚武(法学コース4年)

「専門演習Ⅰ(地域経済論)」を紹介します！



地域経済学の基礎理論や地域経済分析手法を学び、様々な地域再生事例について研究しています。毎年、山陰各地の取組を題材として、フィールドワーク(野外調査)に行っています。テキストや文献資料だけでなく、地域の「生きた現実」を知り、地域の課題を総合的に学ぶことができます。

小椋 かれん(経済学コース4年)

「行政学演習」を紹介します！



政治行政や社会の諸問題につき、学ぶだけでなく解決を目指しています。座学を通じて実態や原因を把握し、解決策を実践(例えば、文系なのに「畑」してます!)し、その結果をまた検証します。座学と実践、双方を通じて、多角的視点、論理的思考力、責任感、コミュカなどを養っています。

湯浅 里菜(法学コース4年)

「国際経済論Ⅰ」を紹介します！



21世紀の世界経済やアジア経済の構造の変化について学び、その変化の要因が何だったのか、当時どういった課題があったのか、という点から経済について理解を深められる授業です。先生が参考にされた文献も紹介され、当時の出来事についての後の学者の分析を詳しく学ぶことができます。

杉山 あや(経済学コース3年)

卒業研究・卒業論文

法学分野

- ◆デジタル・ガバメントに関する法制度について
—デジタル先進国との比較を通して—
- ◆刑事免責制度と司法取引
- ◆犯罪被害者の法的地位
- ◆取調べの可視化
- ◆同相続人間における民法884条の適用
- ◆推定の及ばない子の範囲と科学的証拠の利用について
—最決平成26年7月17日判時2235号14頁②事件とその関連判例を素材として—
- ◆会社法22条1項の類推適用と法人格濫用について
- ◆校則と子どもの権利
- ◆SNS上の誹謗中傷問題における憲法の役割
- ◆日本における安楽死と尊厳死について
- ◆所得税法における必要経費の該当性
- ◆同族会社の行為計算の否認についての検討
- ◆実質所得者課税の原則について—事業所得の帰属を中心に—
- ◆面会交流における間接強制の可否

経済分野

- ◆デジタル化による農業の変化
- ◆プロスペクト理論と個人投資家の不合理な意思決定行動
- ◆しまなみ海道から見たサイクルツーリズムの成功要因とその応用について
- ◆放置空き家の発生要因と抑制について
—地域レベルでの空き家予備軍への対策—
- ◆誘発的聖地巡礼の持続可能性
—松江市のコンテンツツーリズムの持続可能性について—
- ◆道の駅の地域連携機能の持続可能性—中山間地域における農業の活かし方—
- ◆海士町における移住者促進に向けた取り組みの分析
- ◆ナッジ理論を用いた新型コロナウィルス対策
- ◆気候変動問題と次世代自動車の開発競争
- ◆ゲーム産業におけるサブスクリプションビジネスモデル
- ◆沖縄県におけるひとり親世帯の子どもの貧困の現状
- ◆木次線沿線地域の公共交通機関の維持について
- ◆高速道路の費用便益分析における新たな指標についての考察
- ◆水辺利活用の協議会事業体制に関する研究
—松江市・広島市・大阪市との比較を通じて—

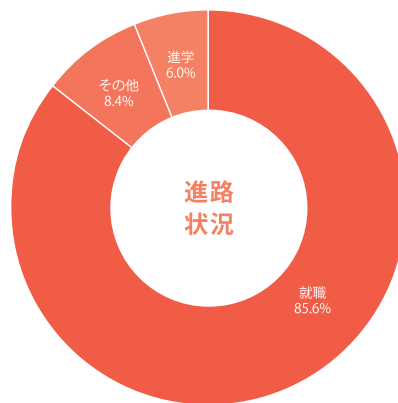
進路・進学先

主な就職先(2022年度卒業生)

日本銀行、ゆうちょ銀行、山陰合同銀行、愛媛銀行、中国労働金庫、姫路信用金庫、島根富士通、三菱電機、瀬戸内スチール、ジェイティービー(JTB)、SSKショッピング、タカラスタダード、JA全農、福屋ホールディングス、キョーリン製薬、両備システムズ、大和ハウス工業、コスモス薬品、コニシ、リンヤ、岡山済生会総合病院、TERAMOTO社会保険労務士法人、ツルハグループ、ドラッグ&ファーマシー西日本、生活協同組合しまね

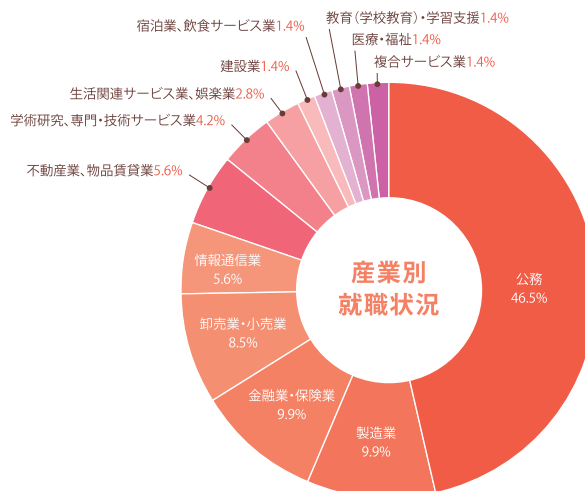
松江地方裁判所、島根県庁、島根労働局、松江市役所、奥出雲町役場、鳥取労働局、鳥取県職員、鳥取県警察、愛媛労働局、広島地方裁判所、広島国税局、熊本地方法務局、真庭市役所、北九州市役所

進路データ(2023年3月卒業生)



主な進学先(2022年度卒業生)

島根大学大学院、関西学院大学大学院、同志社大学法科大学院、立命館大学大学院、広島大学法科大学院



社会文化学科

人と社会の調和と発展

Department of Socio-Cultural Studies

社会文化学科ホームページ
<https://www.hobun.shimane-u.ac.jp/shakaibunka/>



社会文化学科の教育の特色

社会文化学科は、①現代社会コース、②歴史と考古コースからなり、人間と社会に関する問題について総合的に探究・判断できる能力を養うことを目指しています。本学科では、入学後の学生の志望に基づいて1年の後期よりいずれかのコースに所属します。

1

現代社会コース

社会学、地理学、文化人類学へと分かれ専門性を高めます。

2

歴史と考古コース

日本史、東洋史、西洋史、現代史、考古学へと分かれ専門性を高めます。

学習において基礎となるのは、多様な事象を、理論的・実証的に分析する力です。

本学科では、その力を身に付けるため、ゼミや演習形式による少人数教育に重きをおき、講読、実習等による体験型の授業を多数展開しています。カリキュラム構成は、基礎から応用へと体系的に科目を履修できるような仕組みになっており、学生の多様な進路を想定して、きめ細かな学習指導を行っています。

■ 時間割

■ : 専門教育科目 ■ : 全学共通教育科目 ■ : 学芸員資格科目

西洋史学研究室に在籍する、ある2年生の時間割を紹介します。

	月	火	水	木	金
1・2限 8:30~10:10		共生社会史	西洋史概説A		憲法I
3・4限 10:25~12:05		歴史学専修演習	英語学概論	英語II B	現代史概説
5・6限 13:00~14:40	地理学入門		博物館資料論	歴史学史料演習E	
7・8限 14:55~16:35	考古学概論I	歴史学史料演習F	キャリアプランニング	ドイツ語運用演習III	西洋史概説II
9・10限 16:50~18:30	日独文化比較講義I				博物館概論A

西洋史に限らず、
現代史や
考古学などからも
履修できる科目が
あります一年次に一般教養を
中心に履修したため、
二年次では専門科目の
履修を増やしました

■ 授業科目

2023年度入学生向けに開講されている授業科目を抜粋したものです。

学科共通科目	特別研究	社会学概論	歴史学概論
	社会文化入門セミナー	地理学入門	考古学概論
	地域資料総合演習	文化人類学入門	アーカイブズ学概論

現代社会コース

歴史と考古コース

コース指定科目	社会学史	歴史と考古入門セミナー
	社会学講読	日本史概説
	社会調査	東洋史概説
	社会学方法論	西洋史概説
	社会学研究	現代史概説
	社会学実習	日本史特論
	自然地理学	東洋史特論
	経済地理学	西洋史特論
	歴史地理学	現代史特論
	地誌学	歴史学史料演習
	地理情報システム	歴史学専修演習
	地図学	日本史演習
	地理学実習	東洋史演習
	文化人類学概論	西洋史演習
	文化人類学基礎講読	現代史演習
	文化人類学調査法	考古学特論
	文化人類学実習	考古学実習
	文化人類学研究	考古学技術実習
	民族誌	考古学演習
		古文書学実習



学生による授業紹介

社会文化学科の先輩が、実際に受講している授業を紹介します。

「考古学技術実習I」を紹介します！



毎年夏季休業期に石見銀山遺跡にて2週間の発掘調査を行っています。事前に学んだ発掘の手順や調査器材の扱い方を活かし、調査区の測量や掘削、写真撮影等の記録作成、最後には発掘地点の埋め戻しなど多くの作業を実践します。また、発掘調査後には出土した遺物の整理なども行います。

鍵本 瑚々里(歴史と考古コース3年)

「地理学調査法」を紹介します！



地理学調査法は、1年間を通して地理学的観点から物事を調査するときに必要な方法を一から学びます。また、地理学の醍醐味であるフィールドワークに出かけ、現地調査の方法も学んでいきます。授業で身に付けた技術は卒業研究等に活かすことができ、研究をより有意義なものにしてくれます。

伊藤 敏希(現代社会コース4年)

「歴史学専修演習」を紹介します！



現在、世界に残る文化遺産は、何らかの保存するに値する“意義”を持っているはずです。この授業では班のメンバーと協力し、日本と海外の文化遺産の比較を通して、その意味とは何かを調査していきます。身近な文化遺産を巡る活動もあり、歴史学の楽しさと奥深さを味わうことができますよ。

西村 健(歴史と考古コース2023年3月卒業)

「社会学実習」を紹介します！



社会には気づかないだけで、意外と面白いルールや心理が沢山あります。社会学実習は、実践的に「社会学とはどのようなものか」を学ぶことができる授業です。私は島根大学の留学生を対象にインタビューを行い、留学生の価値観や文化の違いなど、彼らの感覚をダイレクトに実感できました。

川井 柚奈(現代社会コース4年)

卒業研究・卒業論文

現代社会コース

- ◆当たり前になった「静かな授業」
—現代社会に必要な繊細で不明瞭なナニカ—
- ◆管理社会に立ち向かうたくましい子どもたち
—児童クラブでの参与観察を通して—
- ◆地方を選択する学生の「自己存在感」という価値観について
—島根県外出身の学生が就職先を島根にする要因から—
- ◆多様性社会とは誰のためにあるのか
—トランスジェンダーの語りから見えてくる真の多様性—
- ◆リアコの恋について
- ◆インターネット上で語られる怪異の要素と表象
- ◆コロナ禍を契機に変わっていくマスクと社会—ヒジャブの例を用いながら—
- ◆日韓両「アイドル」における日本人ファンの関心・意識
- ◆宝塚歌劇団における娘役の存在とその役割
- ◆ご当地キャラクターによる地域アイデンティティの形成
—埼玉県深谷市イメージキャラクター『ふっかちゃん』を事例に—
- ◆地域間の多様な社会関係資本がもたらす農業経営への影響
—鳥取県日南町における水稲作の企業オーナー制度の導入を事例に—
- ◆江戸後期から明治期の北陸方面における出雲・伯耆産鉄の流通
—但馬国美含郡竹野の廻船の動向を中心に—

歴史と考古コース

- ◆古代における災害と初期荘園の経営—東大寺領因幡国高庭荘を事例に—
- ◆摂関政治史のなかの藤原伊周の位置—長徳の変での失脚と復帰をめぐる—
- ◆松江藩御立派改革と賢宰顕彰
- ◆19世紀末から20世紀初頭の朝鮮における讃頌歌の流入とその受容
- ◆カルテからみる西太后の身体とその影響—宮廷医療制度とその実態を踏まえて—
- ◆唐代から宋代にかけての服飾制度の変遷と思想的背景—帯剣制度を例に
- ◆明代の小説史料からみたジェンダー秩序—男性性を中心に
- ◆中世イングランドにおけるフォレスト・システムの意義
—フォレスト指定解除特権に関する検討—
- ◆16世紀後半ブランデンブルク選帝侯領における教会巡察—ブルクニッツ区を例に—
- ◆第二帝政期ドイツ東部国境地帯におけるポーランド人—1906年の学校ストライキ—
- ◆平成期における「老人」観—鳥取県境港市における老人クラブ活動を事例に—
- ◆戦後日本社会における高校野球観の変遷—日本学生野球憲章の理念と実情—
- ◆戦後50年における語り始めた兵士たち
—旧海軍大社基地の記憶とジャーナリスト横原吉則—
- ◆長崎県五島列島における縄文遺跡および縄文石器の検討—石器組成分析を中心に—
- ◆古代山陰地域における交通路の研究
- ◆出雲・石見地方における福光石製宝篋印塔の検討
—16世紀末から17世紀前半を中心として—

進路・進学先

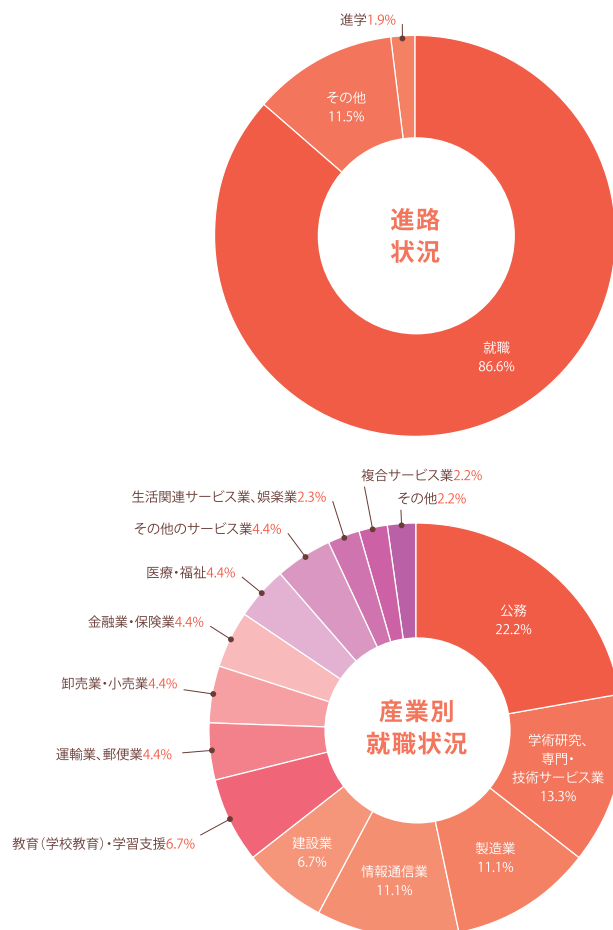
主な就職先(2022年度卒業生)

J A鳥取いなば、米子商工会議所、興南設計、アドプランナー、広島市信用組合、広島船舶高等専門学校、富士薬品、阿波銀行、近畿工業、山陰中央新報社、アート建工中央建設、松江保健生活協同組合、山九
岡山労働局、広島出入国在留管理局、大分県庁、佐賀県庁、島根県庁、福山市役所、三次市役所、真庭市役所、湯梨浜町役場、岡山県警察、鳥取県公立学校、島根県公立学校

主な進学先(2022年度卒業生)

広島大学大学院

進路データ(2023年3月卒業生)



言語文化学科

言葉は世界の扉をひらく

Department of Language and Culture

言語文化学科ホームページ
<https://www.hobun.shimane-u.ac.jp/gengobunka/>



言語文化学科の教育の特色

言語文化学科では、2年から学生自身の希望により、以下の6研究室のいずれかを選択し、自分の興味のある事柄を中心に学んでいきます。いずれの研究室も少人数での丁寧な指導を重視しています。

日本言語文化研究室

古代から現代に至るまでの日本語と日本文学について幅広く学びます。

中国言語文化研究室

中国の言葉や文学、そして背景にある文化や思想を学びます。

英米言語文化研究室

イギリスとアメリカの言語、文学、文化の研究を通じて幅広い視野、分析力を身につけます。

ドイツ言語文化研究室

ドイツ語圏の言語、文学、文化の研究を通じて幅広い視野、分析力を身につけます。

フランス言語文化研究室

フランス語圏の言語、文学、文化の研究を通じて幅広い視野、分析力を身につけます。

哲学・芸術・文化交流研究室

哲学、芸術、文学、映画、音楽等、人間の様々な文化活動を研究し、文化理解のための技術を習得していきます。

どの研究室においても、学生はまず基礎・基本を学び、そこからさらに主体的に課題を発見し解決する力を身につけることを目指します。本学科では留学の支援も積極的におこなっており、毎年、中国・韓国・アメリカ・ドイツ・フランスの交流協定校を中心に多くの学生が留学しています。

■ 時間割

■ : 専門教育科目 ■ : 全学共通教育科目 ■ : 教職科目

ここでは、ある学生の時間割を紹介します。

	月	火	水	木	金
1・2限 8:30~10:10				植物の世界	英米の文学
3・4限 10:25~12:05	共通演習XII	英語運用演習(表現)I		英語IIB	
5・6限 13:00~14:40	イギリス文学基礎演習II	フランスの社会と文化	アカデミック・スピーキングA		共通演習X
7・8限 14:55~16:35	英語科教育法概説I			英語運用演習(音声)I	上級TOEFLセミナーA
9・10限 16:50~18:30		英語高度化プログラムで 英語力アップを 目指しています	グローバル・チャレンジ	キャリアプランニング	

いろんな国の事情や
文化について考える授業を
取っています

■ 授業科目

2023年度入学生向けに開講されている授業科目を抜粋したものです。

学科共通科目	言語文化入門 共通演習 言語文化セミナー 特別研究	日本文学概論 日本語学概論 中国言語文化概論 英米文学概論 英語学概論	ドイツ言語文化概論 フランス言語文化概論 哲学概論 芸術学概論 文化交流論概論
--------	------------------------------------	---	---

	日本言語文化	中国言語文化	英米言語文化
学科専門科目	日本文学史講義	中国文学史講義	イギリス文学講義
	日本文学講義	中国文学講義	アメリカ文学講義
	日本語史講義	中国言語文化論講義	日米文化比較講義
	日本語音韻論講義	中国語学講義	英語学講義
	日本語語彙論講義	漢文学基礎演習	イギリス文学基礎演習
	日本語文法論講義	中国文学基礎演習	アメリカ文学基礎演習
	日本語方言論講義	中国語学基礎演習	英語学基礎演習
	日本古典籍基礎演習	中国文学応用演習	イギリス文学応用演習
	日本文学基礎演習	中国語学応用演習	アメリカ文学応用演習
	日本語学基礎演習		日米文化比較応用演習
	日本文学応用演習		英語学応用演習
	日本語学応用演習		英語運用演習
	現代文学入門講義		
	地域資料総合演習		
	ドイツ言語文化	フランス言語文化	哲学・芸術・文化交流
	ドイツ文化論講義	フランス文化論講義	哲学講義
	日独文化比較講義	日仏文化比較講義	倫理学講義
	現代ドイツ語基礎演習	フランス語学講義	芸術学講義
	ドイツ語運用演習	現代フランス語基礎演習	文化交流論講義
	ドイツ文化応用演習	フランス語運用演習	哲学基礎演習
		フランス文化応用演習	芸術学基礎演習
			文化交流論基礎演習
			哲学応用演習
			芸術学応用演習
			文化交流論応用演習



学生による授業紹介

言語文化学科の先輩が、実際に受講している授業を紹介します。

「イギリス文学応用演習I」を紹介します！



この授業ではネイティブスピーカーの先生から英語でイギリス文学について学びます。エッセイを英語で書く機会もあるのでライティング能力も身に付けることができます。授業を重ねるにつれ、作品に込められた意味や解釈に気づくことができ、イギリス文学の新たな一面に出会うことができます。

立石 美苗(英米言語文化研究室4年)

「日本文学応用演習I」を紹介します！



この授業では、中古・中世の物語作品を読んでいきます。今まで読んできた古典文学の訳は正しいのか、他の文学作品との関係はどうなのか、当時の社会常識はどんなものなのか。作品の内容だけにとどまらず、疑問に思ったことを追求して調べることができるので、能動的に古典文学を学べます。

高木 理莉乃(日本言語文化研究室3年)

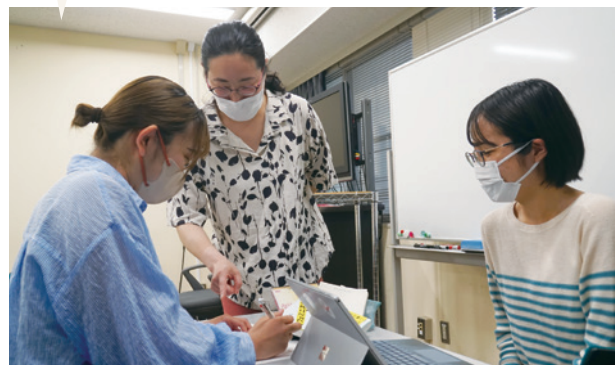
「ドイツ言語文化概論」を紹介します！



この授業では、ドイツ文化を知る上で重要なキーワードについて、様々な文献や文学作品を通して学びます。私が特に印象に残っているのが、ナチスという暗い過去を持つ戦後ドイツにおける「過去の克服」でした。日本は自身の暗い過去と向き合っているのだろうか、を考えるきっかけにもなる授業です。

吉田 萌(ドイツ言語文化研究室4年)

「文化交流論応用演習I」を紹介します！



ディズニー映画『白雪姫』を見たことはありますか？「子供向けの作品を大学で学ぶの？」と思った人もいます。しかし、この映画を「ジェンダーの視点」で見ると、男性が女性に期待する役割が描かれていることに気が付きます。考え方の軸の一つとして「ジェンダー」の視点を取り入れてみませんか？

二文字 彩乃(哲学・芸術・文化交流研究室4年)

■ 卒業研究・卒業論文

日本語文化研究室

- ◆夏目漱石「それから」論
- ◆福永武彦『草の花』について
- ◆谷崎潤一郎『卍』論
- ◆泉鏡花『春昼』『春昼後刻』論
- ◆小川洋子『ミナ』の行進論
- ◆『ドグラ・マグラ』論
- ◆吉本ばなな『哀しい予感』論
- ◆村上春樹『羊をめぐる冒険』論
- ◆『本朝水滸伝』の研究
- ◆黄表紙における「寛政改革もの」の研究
- ◆『佛母大孔雀明王経』の陀羅尼部の梵語音について
- ◆兵庫県丹波市方言におけるテヤ敬語

中国言語文化研究室

- ◆劉心武研究

英米言語文化研究室

- ◆ジョージ・オーウェル『動物農場』におけるアニマル・シンボリズムと政治結社
- ◆ラフカディオ・ハーン「夏の日の夢」論
- ◆カスタマー・サービスの日米比較
- ◆英語中間構文にかかる制約

ドイツ言語文化研究室

- ◆「黄金の鳥」における禁止と変身
- ◆「ホレおばさん」からみるグリム童話の神話的解釈
- ◆『モモ』における二つの時間と現実社会の時間概念

フランス言語文化研究室

- ◆マノンの美に魅入られたデ・グリュエ：『マノン・レスコー』より
- ◆ケベック州における言語問題とアイデンティティ
- ◆コンドルセの教育思想について

哲学・芸術・文化交流研究室

- ◆私的所有の正当化をめぐるロックの議論について
- ◆責任をめぐるハンス・ヨナスの議論
—世代を越えた責任は基礎づけられるのか—
- ◆『ズートピア』に見る差別とその解決のための試み
- ◆是枝裕和監督作品における「家族」と「記憶」
—『海街diary』を中心に—
- ◆デジタルアートにおける二次創作のあり方について
- ◆テレビドラマ『アン』という名の少女』における女性の描かれ方
- ◆島根県松江市における初期テレビ受容について
- ◆暮らしにおける「豊かさ」をめぐる解釈について
- ◆映画『パラサイト 半地下の家族』研究

■ 進路・進学先

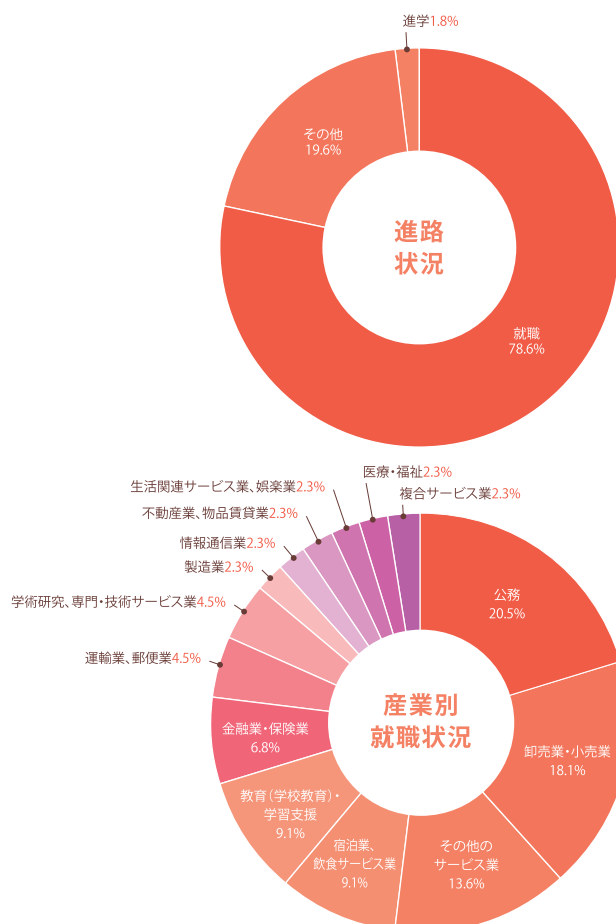
主な就職先(2022年度卒業生)

日ノ丸自動車、ヒルトン東京ベイ、テイケイ西日本、ジェイ・エス・ビー、ジーンズ、エスマイル、公立大学法人 新見公立大学、パソナグループ、日本海テレビジョン放送、宮崎銀行、山陰合同銀行、みしまや、IMAGINE.COFFEE、さくら薬局、フォーデック、RC・クリエイティブグループ
松江地方裁判所、島根県庁、安来市役所、島根県公立学校、三重県庁、鯖江市役所、倉吉市役所、北広島町役場、江府町役場、広島県警察、兵庫県公立学校

主な進学先(2022年度卒業生)

島根大学大学院

進路データ(2023年3月卒業生)





法文学部ホームページ

<https://www.hobun.shimane-u.ac.jp/>

入試情報に関する問い合わせ先

■入試要項等の請求先

島根大学 入試課

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL 0852-32-6073 FAX 0852-32-9726

E-mail epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp

■入試情報の提供

<https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>

2023年7月

制作・発行

法文学部広報委員会

委員

飯野公央、藤本晴久、岩本崇

浜田幸絵

表紙デザイン

陳 章仁(言語文化学科卒業生)